

# 保育者の生活時間 (3)

## 4・5・6月の活動時間と活動内容

相川 高雄

あり、これらの3つの月は一学期である。しかし、すでに(1)で断ったように、調査の月・日は37年2月24日(火)～30日(月)が4月の分であり、5月16日(水)～22日(火)が5月、それに前年の36年6月9日(金)～15日(木)が6月の分となっている。6月の分が36年で、4・5月の分が37年になっているのは、36年6月から、この生活時間の調査を始めたからである。

### 〈4・5・6月の活動時間と活動内容〉

いままで、2回にわたって報告してきた保育者の生活時間(1)および(2)では、それぞれ、その時期にふさわしい生活時間の特徴が現われていた。はじめに報告した(1)では、10・11・12月のうちで10月が運動会シーズンや農繁期の多忙さを示し、(2)の1・2・3月では3

めと同じように、4・5・6月のそれぞれの月を月し金、土、日のそれぞれにまとめてみると表1のようになる。

月が年度末のしめくり月の特色を現わしていた。それらは、単に公的な仕事の面だけではなかった。個人生活や家庭生活の面にも働く婦人としての生活のむずかしさを現わしていた。

こん回、ここに報告するのは、(1)および(2)に引き続いて4・5・6月の(3)である。4月は年度始めの月であり、新学期の重要な月で

まず、月々金までの週日の活動時間と活動内容をみると、4月では、事務、研修、環境、整備、余暇などの活動内容で5・6月に比べて時間が多くなっている。少ないのは、直接の保育時間と給食時間の月である。4月では、まだ保育や給食(おやつを含む)などが普通の月の状態に乗っていないようである。このことは直接の保育活動が4月で2時間48分のおよそ3時間となり、活動時間全般との比率では17%である。これは、5月の3時間22分(20%)、6月の3時

表 1 4・5・6 月の活動時間と活動内容

月		4			5			6				
		月～金	土	日	月～金	土	日	月～金	土	日		
活動時間		分(%)	分(%)	分(%)	分(%)	分(%)	分(%)	分(%)	分(%)	分(%)		
活動内容		分(%)	分(%)	分(%)	分(%)	分(%)	分(%)	分(%)	分(%)	分(%)		
保育(教職的)活動	教材研究	17(2)	22(2)		16(2)	82(8)	15(2)	14(1)	10(1)	5		
	個人研究	3	10(1)	1	2		22(2)	9(1)	20(2)	16(2)		
	保育	168(17)	132(13)		202(20)	101(10)		203(22)	159(17)	21(2)		
	教育評価				1			1	5			
	生活指導	排泄	10(1)	10(1)		8	7		4	3		
		園児と登園				1	2					
		園児送り	28(3)	27(3)		29(3)	25(2)		21(2)	31(3)		
	対関係	その他	1			4			2			
		家庭訪問	7			1			1			
	活動	相談	2	1		5			5	3		
		事務	102(10)	79(8)	1	90(9)	42(4)	9(1)	65(7)	50(5)	26(3)	
		会計	5	2	1	8	1		11(1)	7		
		会議	4	1		7	3		6	6		
		研修	63(6)	6	17	55(5)	64(6)	88(9)	13(1)	36(4)	107(12)	
		社会教育							1			
		施設整備					1					
		環境整備	67(7)	45(4)		57(6)	80(8)	4	60(6)	30(3)	7	
		給食	63(6)	53(5)		71(7)	48(5)		89(9)	53(6)	3	
		保健管理	朝の視診注射検査	16(2)	12(1)		16(2)	14(1)		7	6	
			洗濯	4	7		3	6		6	1	
午睡			3			7			40(4)			
準保育(教職的)活動	その他	4	2		3							
	休	16(2)	23(2)		10(1)	8		9(1)	8			
	登園	準備	15(1)	14(1)		15(1)	13(1)		14(1)	13(1)	2	
		途上	30(3)	28(3)		29(3)	24(2)		29(3)	27(3)	4	
退園	準備	11(1)	10(1)		9(1)	9(1)		10(1)	8			
	途上	29(3)	34(3)		29(3)	38(4)		32(3)	28(3)	3		
個人的・私的活動	余暇	157(16)	225(22)	365(38)	147(14)	183(18)	340(34)	125(13)	223(24)	281(31)		
	家事	洗面・床上	14(1)	16(2)	23(2)	15(1)	17(2)	21(2)	18(2)	18(2)	23(3)	
		掃除	17(2)	22(2)	52(5)	18(2)	16(2)	56(6)	17(2)	23(2)	50(6)	
		洗濯・被服	26(3)	44(4)	185(19)	22(2)	23(2)	140(14)	16(2)	43(5)	103(12)	
	子供の世話	子供の世話	13(1)	26(3)	50(5)	22(2)	25(2)	52(5)	9(1)	13(1)	12(1)	
		その他	18(2)	35(3)	66(7)	24(2)	57(6)	53(5)	10(1)	13(1)	57(6)	
	食事	朝食	35(3)	34(3)	50(5)	35(3)	30(3)	76(8)	39(4)	36(4)	48(5)	
		昼食	8	22(2)	44(5)	3	6	53(5)			55(6)	
		夕食	56(6)	57(6)	76(8)	53(5)	70(7)	59(6)	51(5)	63(7)	78(8)	
		その他	9(1)	7	12(1)	6	9(1)	10(1)	8	11(1)	9(1)	
計	1011(99)	1006(95)	960(97)	1023(94)	1004(95)	998(100)	945(93)	947(95)	910(98)			
睡眠	426	432	476	412	434	440	469	489	514			

間23分(22%)に比べて少なく、また、4月は事務や環境整備が5・6月より多くなっていることから理解できよう。保育者としては4月は年度始め、新学期、としての園児に対するオリエンテーションないしは園への適応指導、および、そのための研修などが多くなり、諸準備の月であることが数的に反映されている。これらの傾向は、4月の特色とみることができよう。

5・6月になると、直接の保育、給食の時間が増し、逆に事務、研修、午睡指導、余暇などが減ってきて、保育活動全般が軌道に乗ってることがうかがわれる。ことに研修は、6月には僅少になってきている。

このような傾向は、土曜の分になると、やや様子が変わってくる。土曜では4月に保育、事務が多いが、これが5月になると教材研究82分、研修64分、環境整備80分、となり、保育時間は101分と4・6月より少ないのに、これら3つの活動はどれも1時間以上になっている。3つの活動時間を合わせると4時間近くになる。このような活動時間がふえるのは、この地方では例年5月下旬に各園共通の体育行事が計画されることによるものと考えられる。一般的には、行事が計画されると、それに伴った準備時間として、この程度の時間を費すものであることを理解するのに役立つであろう。6月になると土曜でも直接の保育時間が多くなってくる。これは、すでに報告した(1)の10月の場合と同じような農繁期のためであること、および夏季における保育時間の特徴が現われてきたものであると考えられる。

このことは、日曜日の分をまとめた4・5・6月のそれぞれを比較すると一層よく理解できる。もちろん園児の家庭の職業構成によって異ってくるが、表1にみられるように地域社会一般が多忙になっている。また、土曜日については6月には保育が多く、さらに5・6月の日曜日と土曜日には研修の時間が多くなっているのも注目すべきことである。

表2 生活時間(分)

活動	保 育	準 保 育	個 人	睡 眠	不 明	1日の全 生活時間	
月 金	4	567	101	343	426	3	1440
	5	586	92	345	412	5	1440
	6	558	94	293	469	26	1440
土	4	409	109	488	432	2	1440
	5	476	92	436	434	2	1440
	6	420	84	443	489	4	1440
日	4	37		923	476	4	1440
	5	138		860	440	2	1440
	6	185	9	716	514	16	1440

表3 週間における生活時間(分)

活動内容		週	月	火	水	木	金	月～金	土	日
保 育 (教 職 的 活 動)	教 材 研 究		17	25	8	13	14	15	38	9
	個 人 研 究		2	8	6	5	3	5	10	16
	保 育		171	215	208	167	200	192	131	7
	教 育 評 価			1	1		1	1	2	
	排 泄		9	6	7	7	8	7	7	
	園 児 と 登 園				1		1		1	
	園 児 送 り		25	21	29	22	26	25	28	
	そ の 他		3	4	1	1	2	2		
	父 関 係		1	2	8	1	2	3		
	母 係		2	5	4	5	3	4	1	
職 的 活 動	家 庭 訪 問		1	2	8	1	2	3		
	相 談		2	5	4	5	3	4	1	
	事 務		74	90	108	75	82	86	57	12
	会 計		6	3	9	13	9	8	3	
	会 議		7	4	2	8	6	5	3	
	研 修		44	9	33	81	51	44	35	71
	社 会 教 育				2					
	施 設 設 備									
	環 境 整 備		59	64	75	57	50	61	52	4
	給 食		80	74	75	60	81	74	51	1
保 健 管 理	朝の視診注射検査		12	13	12	12	14	13	11	
	洗 濯		5	2	4	4	6	4	5	
	午 睡		15	19	18	16	14	16		
	そ の 他		3			2	5	2	1	
準 保 育 (教 職 的 活 動)	休 け い		4	19	10	12	12	11	13	
	登 園 準 備		16	15	14	16	15	15	13	1
	途 上 準 備		29	29	29	29	28	29	26	1
	退 園 準 備		11	11	11	9	10	10	9	1
個 人 的 ・ 私 的 活 動	途 上 準 備		31	28	30	27	33	30	33	
	余 暇		138	141	150	158	127	143	210	329
	家 事		16	15	16	16	15	16	17	22
	洗 面 ・ 床 上		21	19	16	17	13	17	20	53
	掃 除		24	18	22	18	24	21	37	143
	洗 濯 ・ 被 服		14	13	16	17	12	14	21	38
	子 供 の 世 話		13	14	21	15	23	17	35	59
	そ の 他									
	朝 食		40	37	35	33	37	36	33	58
	昼 食		1	3	7	4	2	3	9	51
夕 食		56	56	49	55	52	54	63	71	
そ の 他		6	5	5	9	10	7	9	10	
計		955	988	1042	984	991	992	984	957	
睡 不 眠	眠		472	444	396	449	446	441	452	481
	不 眠		13	8	2	7	3	6	4	2

保育者の活動時間を公的にないしは私的に解りやすくするためにまとめたのが表2である。保育、準保育などの活動領域にまとめ、これを全生活時間からみると以上説明してきた傾向がさらによく理解できる。ことに公的な活動である保育活動全般は5月の月々金、5・6月の土曜と日曜に多い。逆に、個人活動は4月の土曜と日曜に多く、表1からわかるように、個人活動のうちの余暇は4月の土曜と日曜は5・6月のそれらよりも多くなっている。しかし6月の日曜の余暇は少ない。要するに、準保育活動を保育活動に加えると土曜日については5・6月に9時間以上、日曜日と同様に2時間から3時間となって、平日並みかややそれを下る程度である。

〈週間の活動時間と活動内容〉

4・5・6月の活動時間と活動内容を1週間に集約したのが表3の週間における生活時間である。このまとめは、すでに報告した(1)および(2)においても指摘したように、月々金までの各活動時間のあいだにはそれほどはっきりとした特徴はみられない。むしろ、週間の活動実態を理解するのに参考になるであろう。

そこで、表4のように週間の活動領域とその時間をまとめ、1日の生活時間から、それぞれの領域における時間を比べてみることにした。保育活動については水曜と金曜が多い。10・11・12月では金と火、1・2・3月では金曜日が最高である。いままでのところで

は金曜日に保育活動が多く、ついで火曜日も多いということがいえる。月曜から金曜までの保育活動時間の平均は、4・5・6月では568分で、1日の全生活時間からみると39%である。月々金まで通してみると40%前後で、これは10・11・12月および1・2・3月と

表4 週間における活動領域と時間

		月	火	水	木	金	月～金	土	日
保育活動	分	535	565	611	549	578	568	436	120
	%	(37)	(39)	(42)	(38)	(40)	(39)	(30)	(8)
準保育活動	分	91	102	94	93	98	96	94	3
	%	(6)	(7)	(7)	(6)	(7)	(7)	(7)	
個人活動	分	329	321	337	342	315	329	454	834
	%	(23)	(22)	(23)	(24)	(22)	(23)	(32)	(58)
睡眠	分	472	444	396	449	446	441	452	481
	%	(33)	(31)	(28)	(31)	(31)	(31)	(31)	(33)
不明	分	13	8	2	7	3	6	4	2
1日の全生活時間		1440	1440	1440	1440	1440	1440	1440	1440

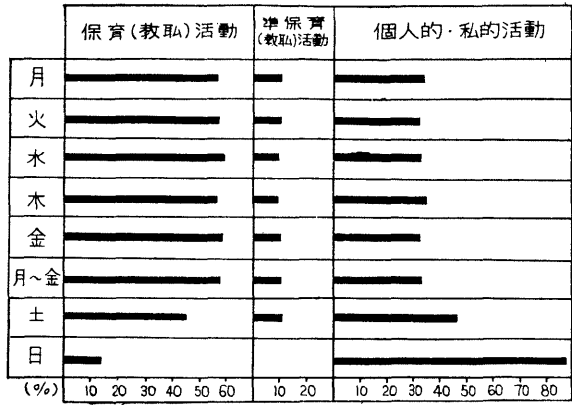


図 1 週間における活動時間の比較 (%)

は、今回の場合が120分で8%、10・11・12月の(20分)15%より少なくなっている。

1日の全生活時間から睡眠時間と不明の時間を除き、活動時間だけによって保育活動、準保育活動、個人的活動を眺めたのが図1の比較である。保育活動と準保育活動とを合わせて教育活動としてみるとき、これは70%、個人活動30%であって、公的活動対私的活動の比は7対3ということになる。

さらにこれらを全生活時間からみるとき月々金については4・5・6月は、保育約9時間半強、準保育活動1時間半、この2つを加えると11時間強になる。そして個人活動は5時間半、睡眠7時間半であるから、平日は、およそそのような状態で1日を過していることになる。しかし、月々金の余暇は2時間半であるから、これを個人活動の5時間半から除くと、14時間働き、2時間が余暇、7時間半睡眠ということになる。働く婦人としての保母は公私ともにたいへんである

(愛知学芸大学)

幼児の教育 第六十二巻 第四号

四月号 © 定価六〇円

昭和三十八年三月二十五日 印刷

昭和三十八年四月 一日 発行

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

編集兼 津 守 真  
発行者

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館  
振替口座東京一九六四〇番

◎本誌ご購入についてのご注文は発売所フレーベル館にお願いいたします。

同様である。いずれにしても今回までの結果では、1日の全生活時間の40%前後が保育、10%未満が準保育、20%前後が個人的私的活動、睡眠が30%前後といった割合になる。土曜日の保育活動は、今回の場合48分で全生活時間の30%、10・11・12月および1・2・3月の場合と大差はない。日曜日の保育活動